

住友商事、国内薄板事業強化へ子会社統合

Edited By LogisticsToday On 2012/06/04

住友商事は4日、国内薄板事業を強化するため、谷本鉄鋼（大阪府泉大津市）と住商鋼板加工（大阪市此花区）を10月1日付で合併し、経営統合すると発表した。統合後の新社名はサミットスチールとする。

谷本鉄鋼は、2005年に住友商事グループに加わった、住友商事グループの全額出資会社で、住友商事傘下では国内最大のコイルセンター。加工拠点を大阪、千葉、広島、山口に展開しており、年間加工能力は約64万トン。

住商鋼板加工は、1969年に設立した住友商事の中核コイルセンターで、出資比率は住友商事が89.2%、住友金属工業が10.8%となっている。大阪、滋賀、兵庫、大分に加工拠点を保有し、年間約56万トンの加工能力を持つ。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/33034>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.